

2020年5月20日

2019年度 決算概要

- ◇ 2019年度 決算概要
- ◇ 中期3ヶ年計画 フォワード304 進捗報告

※ 2020年度の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、現時点で合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから、未定としております。
今後、合理的な予想が可能となった段階で速やかに公表いたします。



中越パルプ工業株式会社

※本資料は百万円未満を切り捨てて表示してあります。

業績概要 【連結】

単位:百万円

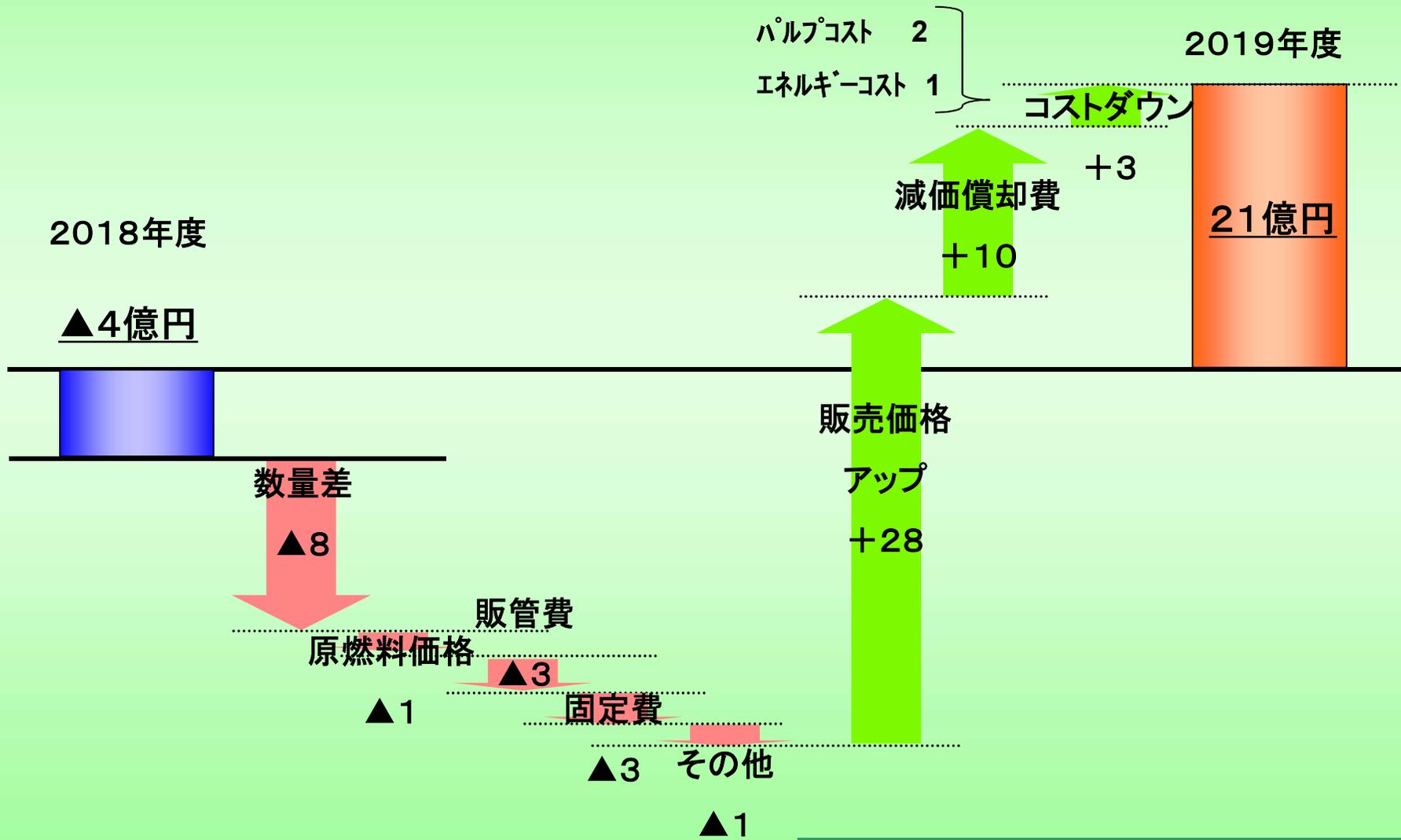
	2018年度	2019年度	増減
売上高	96,716	95,140	▲1,576
営業利益	▲397	2,057	2,454
経常利益	121	1,985	1,864
親会社株主に帰属する 当期純利益	721	919	198
R O E (%)	1.5	1.9	0.4
為替レート(円/US\$)	110.9	109.2	▲1.7
減価償却費(百万円)	7,979	6,980	▲999
連結子会社数	8	8	0
持分法適用会社数	6	6	0

セグメント別損益

単位:百万円

		紙・パルプ 製造事業	発電事業	その他	調整額	合計
2018年度	売上高	85,034	6,926	19,476	▲14,720	96,716
	セグメント 損益	▲1,982	1,315	162	108	▲397
2019年度	売上高	83,437	6,983	19,648	▲14,928	95,140
	セグメント 損益	518	1,295	159	85	2,057
増減	売上高	▲1,597	57	172	▲208	▲1,576
	セグメント 損益	2,500	▲20	▲3	▲23	2,454

連結営業利益増減内訳



連結キャッシュフロー

単位:百万円

	2018年度	2019年度	増減
営業活動	6,320	8,344	2,024
投資活動	▲3,061	▲4,651	▲1,590
財務活動	▲2,099	▲2,387	▲288
現金及び現金同等物残高	5,918	7,222	1,304

営業活動内訳(億円)

税金等調整前当期純利益 14、減価償却費 70、売上債権の減少 32、
棚卸資産の増加 ▲20、仕入債務の減少 ▲15、他

投資活動内訳(億円)

有形固定資産取得 ▲57、短期貸付金の回収 4、長期貸付金の回収 7、他

財務活動内訳(億円)

短期借入金調達 4、長期借入金調達 32、長期借入金返済 ▲53、
配当 ▲7 他

有形固定資産増減明細【連結】

単位:百万円

	期首 残高	増加	減価 償却	除却等	期末 残高	増減
中越パルプ	56,012	4,059	6,587	42	53,442	▲2,570
連結子会社	3,369	1,041	285	-	4,125	756
(連結調整)	▲1,731	763	▲19	-	▲949	782
合計	57,650	5,863	6,853	42	56,618	▲1,032

主なる増加の内訳

- ・川内工場 6RB水冷壁更新 10億円
- ・中越エコプロダクツ
マップシート新工場建設工事 16億円
- 戦略投資案件の発掘を行う。

設備投資計画の概要

2018年度(実績)	42億円
2019年度(実績)	60億円
2020年度	85億円
2021年度	73億円
合計	260億円

※2019～2021年度
マップシート新工場建設 35億円を含む。

有利子負債【連結】

単位：百万円



フォワード304 事業戦略ロードマップ



フォワード304 取り組み状況①

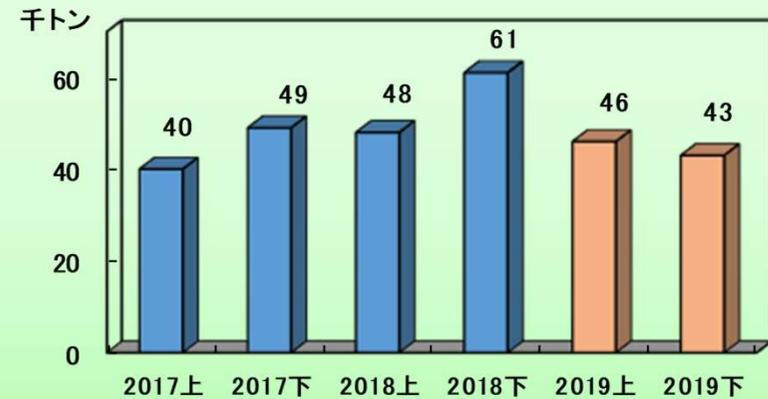
◎パルプ事業拡大の取り組み

- ・2019年度のパルプ販売数量については、川内工場の停止が長期間であったことや、パルプ市況の悪化により、対前年と比較し減少。

・LBKP 市況推移



・パルプ販売数量推移(千トン)



フォワード304 取り組み状況②

●高機能セルロースナノファイバー パイロットプラント建設計画

2019年4月から計画策定に向け 機器選定、プラント詳細設計の取組開始

新型コロナウイルス感染拡大の影響

- ・設備選定テスト等の遅延発生
- ・国内外の経済活動の抑制・停滞の影響

→ 今後、開発品に対する要求レベルの高度化が予想される。

建設計画の再考

- ・開発スケジュールの見直しを進める。
 - ※ サンプル展開開始時期は当初計画を目指す。
(川内工場へも 仮設置しテスト実施、効率アップを図る)
- ・高機能CNFの高グレード化、低コスト化に取り組む

→ 設備選定の充足・強化

- ・当社CNFブランド「nanoforest®」の商品展開を強力に推し進めていく。

※計画概要

高岡工場内 生産能力 : 年間約60トン

- ①疎水化CNF 「nanoforest-M」
- ②高解繊CNF 「nanoforest-S」
- ③CNF100%成形体 「nanoforest-CMB」

フワード304 取り組み状況③ー1

◎合併事業への参画

- ・プラスチック使用量を大幅削減する新素材MAPKA®(マップカ)
富山県 高岡工場内にマップカシート製造設備を設置

※計画概要

マップカシート生産能力 年間12,000トン

投資総額 約35億円

鉄骨 2階建て建屋、延床面積 6,612㎡

建築面積 5,530㎡、敷地面積 8,450㎡

食品トレイ用マップカシート、酸素バリア性マップカシートの製造を計画



①紙パウダーの製造



②紙パウダーと
合成樹脂を混合



③シート製造設備にて
MAPKA®シートを製造・販売

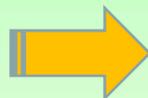


④食品トレイとして利用

MAPKA®製品画像提供 (株)環境経営総合研究所
「MAPKA®」は(株)環境経営総合研究所の登録商標です。

フォワード304 取り組み状況③ー2

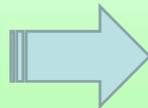
●マプカシート新工場建設 進捗状況



・新工場外観イメージ



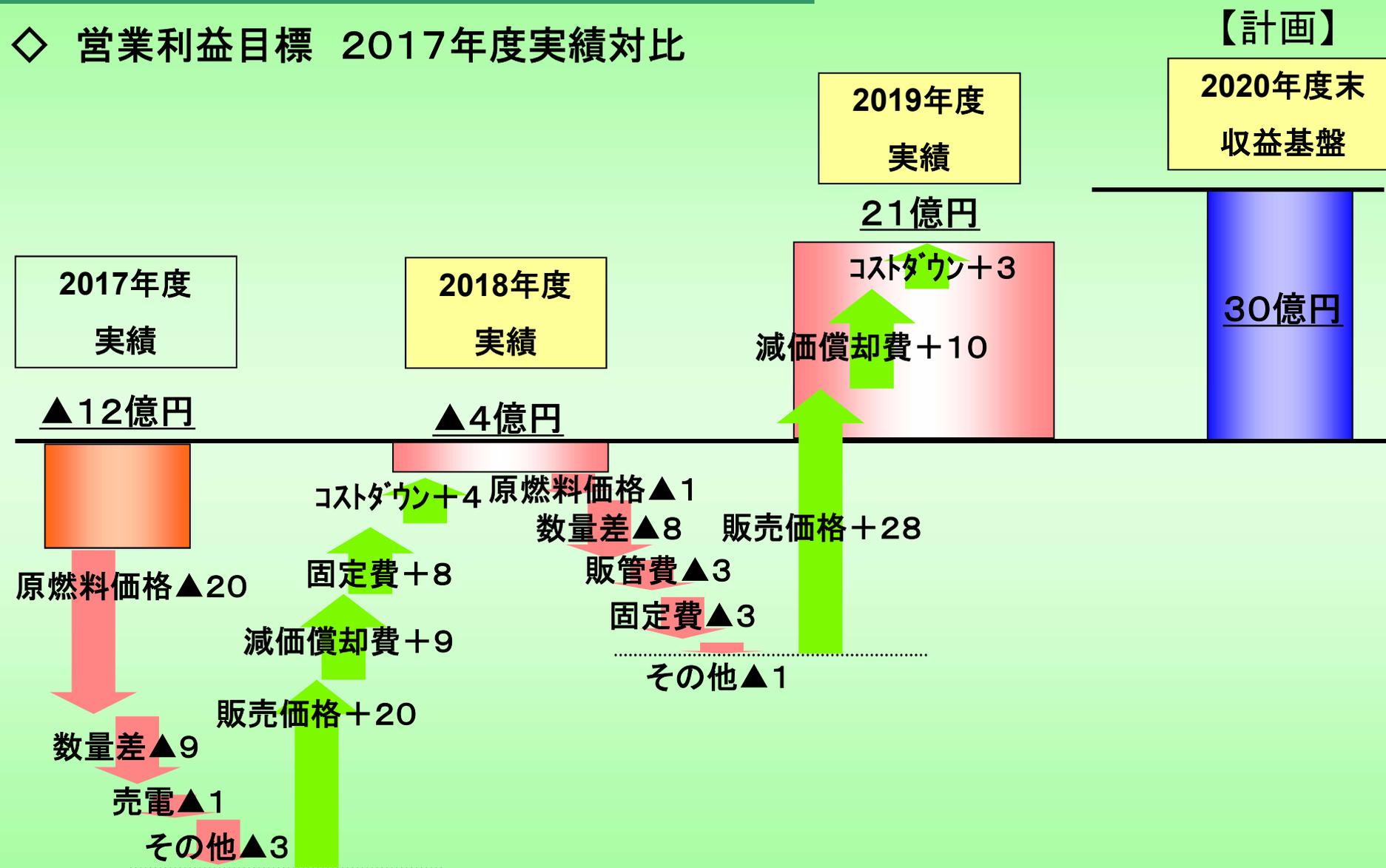
(2020年5月7日撮影)



『2020年秋 竣工予定』

フワード304 連結営業利益 進捗

◇ 営業利益目標 2017年度実績対比



主要原燃料価格の推移

●2019年度 原燃料価格（2009年度対比）

